

2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也 (TEL) 042-363-1039
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期第3四半期の業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	1,197	△10.1	136	△43.8	145	△40.1	98	△40.1
2023年6月期第3四半期	1,332	△5.9	242	△30.7	242	△32.1	165	△33.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年6月期第3四半期	19	72	—	—				
2023年6月期第3四半期	32	95	—	—				

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	8,856	8,128	91.8
2023年6月期	9,206	8,431	91.6

（参考）自己資本 2024年6月期第3四半期 8,128百万円 2023年6月期 8,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,600	△8.8	169	△38.7	178	△36.8	125	△34.9	24	93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（2024年5月10日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期3Q	5,300,000株	2023年6月期	6,000,000株
2024年6月期3Q	281,472株	2023年6月期	994,460株
2024年6月期3Q	5,014,558株	2023年6月期3Q	5,007,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、国内外の人の移動が戻ってきて観光業やサービス業中心に堅調に推移し、緩やかな回復傾向となりました。一方で、製造業は世界的な金利上昇により耐久消費財などの消費が減少してきたことを受けて、全体的な景況感は悪化しています。

国内製造業の業況は次のようになりました。航空機業界は新型コロナ以降需要が激減していましたが、人の移動制限が外れてから需要は戻ってきていて、航空機部品も徐々に増加してきました。自動車業界も半導体不足や部品欠品などでなかなか予定台数を生産できない状態が続いていました。自動車メーカーでの検査不正による工場生産停止の影響も一部ありましたが、全体的な部品欠品も解消が進み、自動車生産台数は増えてきました。半導体業界では、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの売上減少にともなうメモリーの在庫積み上がりで生産は落ち込んでいましたが、在庫調整も進み徐々に生産は戻ってきています。生成AI、自動車の自動運転、EVなどは今後増加が予想されていて、先端半導体やパワー半導体などは堅調に推移しています。電子部品に関しては、車載向け電子部品は一定程度受注があったものの、パソコン、スマートフォン向けなどが在庫積み上がり生産減少しました。工作機械や生産設備は製造業全般の設備稼働率低下が影響して、受注減少しました。自動化や省略化などで産業用ロボットは増加していましたが、需要の大きかった中国が景気悪化したため減少しています。ロボットなどに使用する減速機も減少しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、自動車部品加工は戻ってきましたが、電子部品、設備部品などが減少して国内の量産部品加工は減少し、コレットチャックの受注も低調に推移しました。1月は低水準で2月は自動車部品生産などがあり幾分戻りましたが、3月は電子部品や設備部品など低調で再び減少しました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は829,347千円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は320,591千円（前年同期比19.3%減）となりました。

切削工具部門では、自動車部品加工が一部メーカーの工場停止などで影響を受けましたが、すそ野が広く一定の加工量はありました。逆に電子部品、電機、設備、工作機械などは総じて低調に推移し、当社の受注も減少しました。

別注切削工具の製作・再研磨は新たな加工案件や加工効率改善のため一定の需要はありましたが、製造業全体の加工量が減少したことを受けて減少となりました。売上高は105,457千円（前年同期比6.1%減）となりました。

市販切削工具の再研磨は、自動車部品加工以外で全体的に機械稼働率は低下している企業が多く、当社の受注も減少となりました。売上高は252,539千円（前年同期比12.7%減）となりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は357,997千円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は47,887千円（前年同期比16.8%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、製造業全般の業況は悪化しましたが、カムの更新や新たな加工向けなどで受注は微減にとどまりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は10,253千円（前年同期比1.2%減）、セグメント損失は3,078千円（前年同期は636千円の利益）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,197,597千円（前年同期比10.1%減）、営業利益は136,280千円（前年同期比43.8%減）、経常利益は145,112千円（前年同期比40.1%減）、四半期純利益は98,876千円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、6,662,730千円（前事業年度末は7,538,455千円）となり875,725千円の減少となりました。これは、仕掛品が15,381千円、その他が11,236千円増加しましたが、現金及び預金が860,902千円、受取手形及び売掛金が22,593千円、前払費用が17,193千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,193,374千円（前事業年度末は1,668,136千円）となり525,237千円の増加となりました。これは、機械装置及び運搬具が40,721千円、長期前払費用が38,690千円、建物及び構築物が23,116千円減少しましたが、投資有価証券が598,805千円、有形固定資産のその他が24,932千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、8,856,104千円（前事業年度末は9,206,592千円）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、176,957千円（前事業年度末は201,502千円）となり24,545千円の減少となりました。これは、未払金が13,188千円、その他が9,148千円増加しましたが、未払法人税等が41,157千円、役員賞与引当金が3,400千円、買掛金が2,325千円減少したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、551,003千円（前事業年度末は573,977千円）となり22,974千円の減少となりました。これは、その他が125,374千円増加しましたが、役員退職慰労引当金が137,440千円、退職給付引当金が10,908千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、727,960千円（前事業年度末は775,480千円）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,128,144千円（前事業年度末は8,431,111千円）となり302,967千円の減少となりました。これは、自己株式の減少が497,716千円、その他有価証券評価差額金の増加が69,064千円ありましたが、利益剰余金が745,125千円、資本剰余金が124,623千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、本日（2024年5月10日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,814,158	5,953,256
受取手形及び売掛金	327,118	304,524
製品	3,126	2,743
原材料	42,332	41,057
仕掛品	255,511	270,893
前払費用	94,966	77,773
その他	1,253	12,490
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	7,538,455	6,662,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422,911	399,794
機械装置及び運搬具(純額)	428,567	387,845
土地	333,534	333,534
その他(純額)	11,135	36,068
有形固定資産合計	1,196,149	1,157,243
無形固定資産	2,945	4,058
投資その他の資産		
投資有価証券	218,888	817,693
長期前払費用	42,470	3,779
繰延税金資産	207,547	210,426
その他	675	740
貸倒引当金	△540	△567
投資その他の資産合計	469,041	1,032,072
固定資産合計	1,668,136	2,193,374
資産合計	9,206,592	8,856,104
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,497	13,172
未払金	84,612	97,801
未払法人税等	56,095	14,938
役員賞与引当金	6,900	3,500
その他	38,397	47,545
流動負債合計	201,502	176,957
固定負債		
退職給付引当金	420,016	409,107
役員退職慰労引当金	137,440	—
その他	16,521	141,895
固定負債合計	573,977	551,003
負債合計	775,480	727,960

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	481,250	356,627
利益剰余金	8,258,743	7,513,617
自己株式	△692,283	△194,566
株主資本合計	8,340,210	7,968,178
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,901	159,966
評価・換算差額等合計	90,901	159,966
純資産合計	8,431,111	8,128,144
負債純資産合計	9,206,592	8,856,104

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,332,791	1,197,597
売上原価	884,111	832,196
売上総利益	448,680	365,401
販売費及び一般管理費	206,286	229,120
営業利益	242,393	136,280
営業外収益		
受取利息	141	3,237
受取配当金	3,834	4,613
売電収入	420	226
貸倒引当金戻入額	110	—
作業くず売却益	818	917
その他	911	524
営業外収益合計	6,237	9,519
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	6,187	687
営業外費用合計	6,187	687
経常利益	242,443	145,112
特別損失		
固定資産除却損	0	902
特別損失合計	0	902
税引前四半期純利益	242,443	144,210
法人税、住民税及び事業税	105,302	77,953
法人税等調整額	△27,869	△32,619
法人税等合計	77,433	45,334
四半期純利益	165,010	98,876

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月25日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月29日付で、自己株式700,000株の消却を実施いたしました。この結果、第1四半期累計期間において自己株式処分差益143,850千円と利益剰余金343,448千円及び自己株式が487,298千円減少し、当第3四半期会計期間末において利益剰余金が7,513,617千円、自己株式が194,566千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式6,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用及び長期前払費用として計上していた、該当事項契約期間の未経過分を株式報酬費用消滅損で営業外費用として計上しております。

当第3四半期累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式2,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用として計上していた該当事項契約期間の未経過分を、株式報酬費用消滅損として営業外費用に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	920,642	401,768	10,380	1,332,791	—	1,332,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	920,642	401,768	10,380	1,332,791	—	1,332,791
セグメント利益	397,238	57,550	636	455,425	△213,032	242,393

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費 △6,745千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	829,347	357,997	10,253	1,197,597	—	1,197,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	829,347	357,997	10,253	1,197,597	—	1,197,597
セグメント利益又は損失(△)	320,591	47,887	△3,078	365,401	△229,120	136,280

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

報告セグメント毎の業績をより適切に評価管理するため、第1四半期会計期間より共通費の配賦方法を一部見直し、各セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報を、変更後の共通費の配賦方法により作成することが実務上困難なため、変更前の共通費の配賦方法により開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	920,642	112,328	—	112,328	10,380	1,043,351
その他	—	—	289,439	289,439	—	289,439
顧客との契約から生じる 収益	920,642	112,328	289,439	401,768	10,380	1,332,791
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	920,642	112,328	289,439	401,768	10,380	1,332,791

当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	829,347	105,457	—	105,457	10,253	945,058
その他	—	—	252,539	252,539	—	252,539
顧客との契約から生じる 収益	829,347	105,457	252,539	357,997	10,253	1,197,597
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	829,347	105,457	252,539	357,997	10,253	1,197,597